

# 報告書

## 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会 ～日中国交正常化45周年記念～



日時 2017.8.3(木)～8.8(火) in 北京  
会場 国家オリンピック体育センター

# — 目 次 —

- ◆日 程 . . . . . 1
- ◆大会開催要項(抜粋) . . . . . 2
- ◆石狩市・彭州市選手団参加者名簿 . . 3
- ◆写 真 集 . . . . . 4~9
- ◆報 告 書 . . . . . 10~20
- ◆結 果 表 . . . . . 21
- ◆エントリーチーム一覧 . . . . . 22
- ◆「日本と中国」新聞記事 . . . . . 23~25



## 日 程

	日 (曜)	主な日程
1	8月3日 (木)	14:00～ 受付(北京会議センター 9号ビル1Fロビー) ※専用バスにて宿泊ホテルへ: 宿泊手続き&受付 18:00～20:00 夕食 (ホテルにて) 21:00～ 監督会議 (9号ビル3F多目的ホール)
2	8月4日 (金)	06:30～08:30 朝食 08:45 集合、バスにて体育館へ移動 10:00～11:15 開幕式 (入場行進、模範試合等) 11:20 集合、バスにてホテルに戻る 11:30～13:30 昼食 (ホテルにて) ※昼食後、各チームは練習時刻にあわせてシャトルバスにて体育館へ移動 13:30～18:00 練習 ※練習終了後シャトルバスにてホテルへ戻る
3	8月5日 (土)	06:30～08:30 朝食 ※朝食後、各チームは試合時刻にあわせてシャトルバスにて体育館へ移動 08:30～11:30 予選リーグ戦 ※試合後、各チームはシャトルバスにてホテルへ戻る 11:30～13:30 昼食 (ホテルにて) ※昼食後、各チームは試合時刻にあわせてシャトルバスにて体育館へ移動 14:00～18:00 予選リーグ戦 ※試合後、各チームはシャトルバスにてホテルへ戻る 18:00～20:00 夕食 (ホテルにて)
4	8月6日 (日)	06:30～07:00 朝食 午前: 石狩彭州チームは別行動・天安門と故宮見学 12:00～ 昼食・全聚徳 (レストラン名) 14:00～15:30 決勝戦 16:00～18:00 授賞式・閉幕式 18:15 集合、バスにてホテルへ戻る 18:30～20:00 夕食 (ホテルにて)
5	8月7日 (月)	06:30～08:20 朝食 08:30 集合、バスにて出発 08:30～「万里の長城」見学へ 11:30～13:30 昼食 (雁栖湖Sunriseホテルにてバイキング) 13:30～ 雁栖湖見学 (「一带一路」サミット会場) 16:30 ホテルに到着 18:30～20:00 祝賀パーティー (ホテル8号ビル大宴会場)
6	8月8日 (火)	05:00～ ホテルロビー集合 (北京空港へ帰国)

## 日中国交正常化 45 周年記念

### 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会開催要項 〈一部抜粋〉

#### 1. 開催趣旨

日中国交正常化 45 周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、特に 21 世紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げることを目的とします。

#### 2. 主催団体

日本側 公益社団法人日本中国友好協会  
公益財団法人日本卓球協会

中国側 中国人民対外友好協会  
中国日本友好協会  
中国卓球協会

後援 総務省  
文部科学省  
一般財団法人自治体国際化協会  
公益財団法人日本体育協会  
全国知事会 全国市長会 全国町村会

#### 3. 参加チーム

日中両国の友好都市、友好交流都市関係にある全国の自治体参加数  
67 組



大会の開会宣言をする中日友好協会の唐家セン会長



東京都・北京市チームの船山丈二君（足立学園中 3 年）が「両国の友好交流のために努力しよう」と選手宣誓した。

## 参加者名簿（日本・石狩市）

チーム 役割	氏名	性別	生年月日	所属(学校名)	役職
職員	高井 史朗	男	1973. 2	石狩市役所企画経済部秘書広報課	秘書広報課長
団長	藤田 隆	男	1953. 2	特定非営利活動法人 石狩国際交流協会	専務理事
通訳	金 娜	女	1979. 10	特定非営利活動法人 石狩国際交流協会	事務局職員
監督	菊地 卓也	男	1990. 5	石狩市立 花川北中学校	教員 (卓球部顧問)
選手	見延 大和	男	2002. 12	石狩市立 花川北中学校	一年生
選手	渡邊 詩月	女	2004. 12	石狩市立 花川北中学校	三年生

## 参加者名簿（中国・彭州市）

チーム 役割	氏名	性別	生年月日	所属(学校名)	役職
団長	王 亮	男	1985. 12	彭州市僑外事弁事務局	副局长
職員	王 永松	男	1962. 10	彭州市人民对外友好協会	会長
監督	蔣 鵬	男	1971. 09	彭州市中学校実験学校	教頭先生
選手	毛 开蕊	女	2003. 01	彭州市中学校実験学校	二年生
選手	許 智皓	男	2004. 05	彭州市中学校実験学校	一年生



# 写真集





【7.26(水) 市長、議長、教育長の表敬訪問】

「頑張らなくてもいいよ、しっかり楽しんで来て  
ください」と田岡市長から笑顔で二人の選手に  
応援メッセージが送られました。

【8.3(木) 出発】

中国ってどんな所だろう・・・！  
ドキドキ、わくわく・・・



→北京に到着。みんな並んで「はいチーズ」

2017年(平成29年)8月4日(金曜日) 地域の話 20

## 石狩当別

大会への懸念込みを語る見延大和さん(左)と渡辺詩月さん

▷ニュース・話題は  
報道センター  
☎ 011-210-5555  
℡ 011-210-5556  
sapporo@hokkaido-np.co.jp  
石狩市役所記者室  
☎74-6633 ℡ 72-2260

▷原稿は道新観光所へ

■石狩 79-2035  
■浜益(八田) 78-2414  
■厚田(徳川) 77-2402  
■望加敷・正利冠・古瀬(武田) 74-5231  
■網走・小樽(古村) 73-1714  
■紋別 23-4192  
■本町(山下) 26-2191  
■太美(高田) 74-3951  
▷広告の問い合わせは  
広告局 ☎011-210-5710

◆インターネット・スマートフォン・タブレット  
道新プレイガイド  
TEL 011-241-3871  
札幌市中央区南一条西5丁目  
道新ビル1階 道新プレイガイド  
http://dochin-playguide.jp/

### 日中交流卓球 全力尽くす

2中学生、市役所で抱負  
【石狩】1977年の日中  
国交正常化から40周年を記念  
し、中国で開催される「日中友  
好交流都市中学生卓球交歓大  
会」に出場する花川北中3年  
生渡辺詩月さん(左)と、同1年  
生見延大和さん(右)が市役所を  
訪れ大会への抱負を語った。  
大会は4月6日、北京市で  
開かれる。約10チームが出場  
し、交換禮物を結ぶ。日中  
両国の各都府から、それぞれ  
2000年から毎都市市長を  
結ぶ四川省の彭州市と、高  
雄市を結ぶ。2人は代表の委員、金道大会  
などの出席からワンパシ選  
手に出陣する。花川北中3年  
生渡辺詩月さん(左)と、同1年  
生見延大和さん(右)が市役所を  
訪れ大会への抱負を語った。  
大会は4月6日、北京市で  
開かれる。約10チームが出場  
し、交換禮物を結ぶ。日中  
両国の各都府から、それぞれ  
2000年から毎都市市長を  
結ぶ四川省の彭州市と、高  
雄市を結ぶ。2人は代表の委員、金道大会



领队会



北京空港で出迎いのボランティアスタッフ  
の大学生さんです。皆さん日本語がペラ  
ペラ。

【監督会議の後】

石狩と彭州の監督は気合が入って  
います。ファイト♪

【8.4(金) 開会式&練習】



← 体育館に向かうところ。



宿泊先ホテルの朝ごはん。  
美味しそう😊



元世界チャンピオンに  
よる、模範試合。



開会式。



いよいよ、本戦に向けた練習の様子。





【8.5(土) 予選リーグ戦】



団体比赛第四区 (第13组)

顺序	时间	台号	对阵	组别
1-4	10:00	19台	1 彭州市-石狩市	1
2-3		20台		
1-3	13:30	11台	2 福田区-饭山市	2
4-2		12台		
1-2	16:30	13台	3 大连市-北...	3
3-4		15台		



会場全体



↑ 彭州側の監督のアドバイス

選手整理



休憩中  
ほっとひと息

悔いのない様に、伸び伸びやりなさい



男女ダブルス



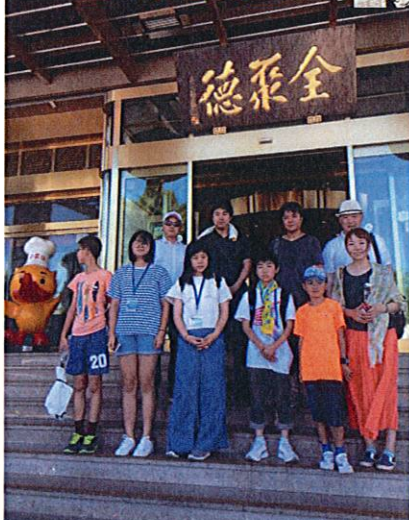
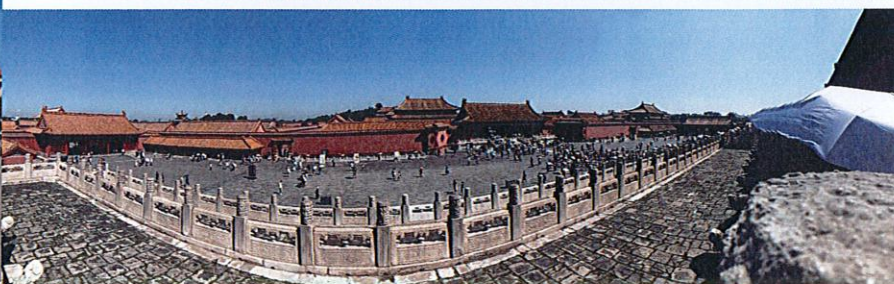
【8.6(日) 天安門&閉会式】



← 北京天安門



故宮の前で記念撮影



→ 豪華な昼食



← 噂の北京ダック

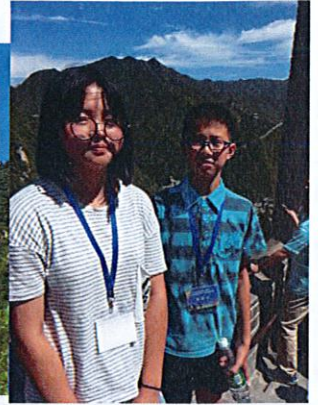
↑ レストランの前にて記念撮影



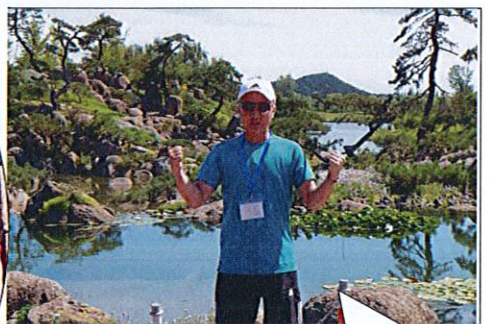
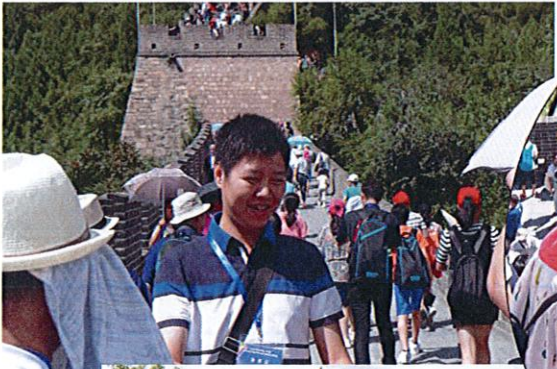
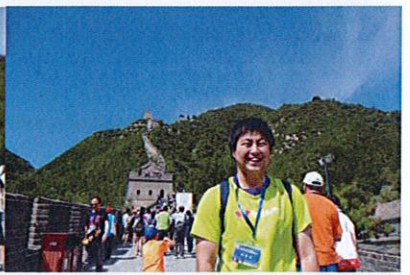
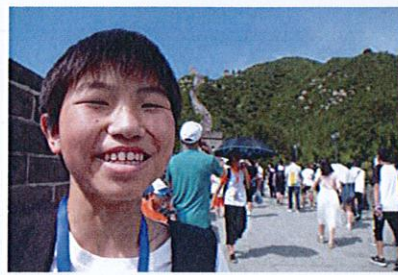
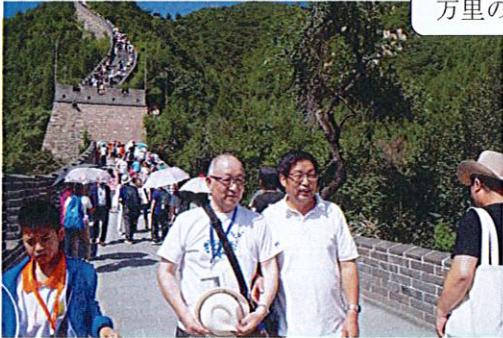
楽しく頑張った証し。



【8.7(月) 万里の長城&祝賀レセプション】



どこまでも続く  
万里の長城。

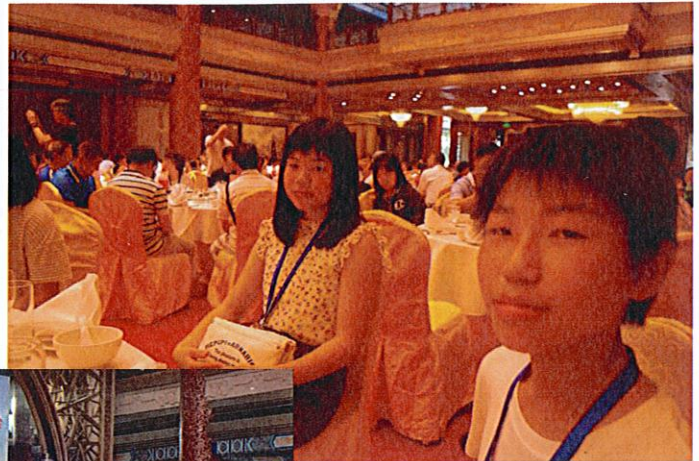


蒋監督の決めポーズ





祝賀レセプションにて



祝賀レセプションにて



(財)日本卓球協会 前原副会長に挨拶。

【8.8(日) 帰国】

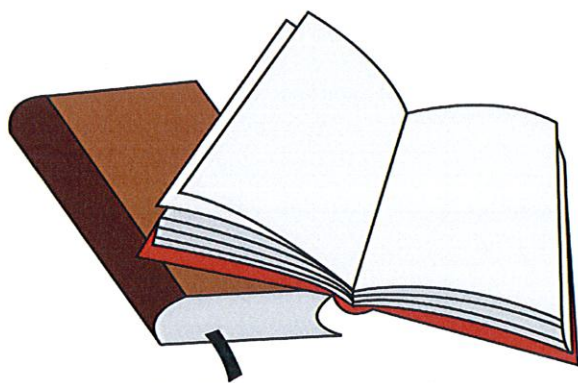


ただいま～  
無事に帰ってきました♪



帰国の朝、ホテルの前で記念写真

# 報 告 書



## 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会に参加して

団 長 藤 田 隆

(特定非営利活動法人石狩国際交流協会 専務理事)



北京で開催された日中友好交流都市中学生卓球交歓大会に 8 月 3 日 (木) から 8 日 (火) の 5 泊 6 日の日程で参加しました。

この大会は、日中国交正常化 45 周年の節目を記念して、日本と中国の各友好交流都市の中学生が卓球を通じて交流する目的で 5 年毎に開催される大会であります。今回は、日中友好都市で編成された合同 67 チームによる団体戦の大会が行われ、石狩市からは 2 名の中学生男女卓球選手が、石狩市の姉妹都市である彭州市の中学生男女 2 名の合計 4 名の選手と共に対戦して参りました。



石狩市と彭州市とは、農業研修生の受入を契機として交流が開始され、これまでに行政・市民・経済、文化、医療、教育等さまざまな交流を行っており、とりわけ今回のような青少年スポーツ交流は両市にとって新たな試みであり、将来を担う青少年が共に白球を通して交流を行うという大変有意義な友好交流事業であります。

一昨年には、彭州市との姉妹都市提携 15 周年の節目として彭州市友好訪問団の皆さまと共に記念式典を執り行い、両市の今後の交流の発展を誓い合ったところであり、今年は日中国交正常化 45 周年として、石狩市と彭州市、両協会が共に手を携えながら参加に漕ぎ付けたことは、両市の今後の継続的な友好親善を進めて行く上で非常に大きな未来への礎になったと感じております。

大会の結果ですが、4 ブロックに分かれた第 4 予選ブロックの大連市・北九州市チーム、福田区・長野飯山市チームが非常に強く、両チームは決勝トーナメントにおいても、他チームを寄せ付けない強さで、優勝・準優勝致しました。唯一、石狩市チームの見延大和君が、優勝チームのエースを負かす等一矢を報いる事が出来ましたが、成績は残念な結果となりました。

また子どもたちは、大会開催中の試合は勿論、試合を離れてからも、ホテルの部屋等で英語を通して交流し、真のフレンドシップが芽生え、特に試合中には「加油 (ジャヨウ)」！「がんばれ」と両国語で一生懸命に応援のエールを送りました。

お互いが素直な気持ちで応援しあえたのも、姉妹都市という安心感がなせるものであり、今回の経験は子どもたちにとって「宝」であり「力」となっているはずですよ。一生の記憶に残る最高の贈り物であったのではないのでしょうか。子どもたちのこれからの活躍を大いに期待しています。

最後に、この度の参加に際しお世話いただきました全ての皆さまに対し心から感謝申し上げ報告とさせていただきます。



日中友好交流都市中学生卓球交歓大会に参加して



石狩市役所企画経済部秘書広報課 高井 史朗

今回、北京を訪れ、私を感じたことをまとめました。

■中国のパワーを感じて

初めて中国を訪れたのは、今から15年前、2002年のこと。その時は上海を訪れましたが、最先端の高層ビルが林立する傍らで、多くの自転車が行き交う通り沿いにあるクラシックホテルに宿泊し、昔ながらの食堂に立ち寄り、安い食事をとった記憶があります。その後、数回ほど中国を訪れる機会がありましたが、行

く度にノスタルジックな風景を残していた街並みは新しい建物へと様相を変えている印象を受けます。

今回初めて訪れた中国の首都、北京市。人口2,500万人を有するこの大都市は、車窓から見る限りでは、どこまでも続く都市空間の広がりイメージしきれないほど、スケールの大きさに圧倒されました。経済発展に伴う街の成長と、そこで暮らす人々の活気を感じとれました。

■青少年交流の可能性を感じて

今回、派遣された選手たちも、中国はもとより外国を訪れるのは初めてとのこと。それでも、堂々と試合に臨み、決勝トーナメントには進出できませんでしたが、代表としての役割をしっかりと果たしてくれました。

また、コミュニケーションに関して、両市の選手たちは、相手の国の言葉を話すことができないというハンデがありながらも、自ら英語でコミュニケーションをとるなど、チャレンジする姿勢が頼もしく感じました。

子ども達も、大人も、今回訪問して分かったことがたくさんありました。短期間ながらも、異文化に順応し、自らチャレンジすることの大切さを学ぶことができる青少年交流のこれからの可能性を感じました。

■彭州市との交流の可能性を感じて

2000年の姉妹都市提携以降、彭州市との交流は17年目を迎えます。これまでも数多くの相互交流を重ねてきましたが、今回彭州市の関係者との協議を行う中で、新たな人的交流を開発するために、今後はスポーツや文化など、共通のテーマ性をもった交流ができないか、両市で検討することで一致しました。

今回は、「卓球」という共通テーマで両市が大会に参加するという形で交流が行われましたが、この経験をさらに発展させ、両市を訪問するなど、新たな交流を展開していければと考えます。

彭州市選手団をはじめ、このような機会を与えてくれた関係の皆様へ感謝します。



## はじめに

この度は、日中友好卓球交流大会に参加させていただき、ありがとうございました。【卓球大会】【観光と文化】【交際交流】の3つの観点から、感じたこと、学んだことをレポートにしました。

## 卓球大会

石狩市・彭州市チームは予選リーグで【平戸市・南安市】に1対4で敗戦。【北九州市・大連市】に1対4で敗戦。【飯山市・福田区】に0対5で敗戦。0勝3敗で予選リーグ敗退となりました。見延は中国選手に2勝1敗と健闘しました。敗れた試合の選手は省の代表チームに所属している選手でした。台上からチキータなど積極的に使われ先手を取られ敗れてしまいました。

渡邊は健闘したものの、中国選手の粒高ラバーを使った変化プレーや粘着ラバーの回転



量の多いボールの対応に苦戦しました。

男子の中国選手はフォア面に中国製のラバー、バック面に日本製ラバーを貼っていて、日本人よりも回転をかけることを意識してプレーしていると感じました。女子は、ペンホルダー、シェークハンド問わず、粒高ラバーを使っている選手がたくさんいて対応力が大切だと感じさせられました。

団体戦の3番はダブルスで、日本人と中国人のミックスマックス（男女でペアを組む）でした。

石狩市立花川北中学校教員 菊地卓也

言葉は通じなくとも、卓球を通して作戦を考えたりコミュニケーションをとりながらプレーをしていました。負けてはしまいましたが、石狩市・彭州市の子どもたちがお互いに声を掛け合いながらプレーをしたり、ベンチでは中国語で『加油(ジャーヨウ)』と応援したりと友好都市として同じチームとして絆を深めました。



試合中に自分達の記念写真を撮る審判の方！日本ではなかなか考えられないと思い笑ってしまいました。

## 観光と文化

大会終了後は、彭州市の計らいで、北京市内を観光しました、まず、最初に行ったのは天安門広場と紫禁城。なんとといっても北京の暑さに驚かされました。北海道とはちがひ、刺さるような日差しが照りつけ、立っているだけで汗がだらだら…。観光客の人は大きな街灯があるとその陰に沿って休んでいました。



テレビでよくみる【中国といえばこの場所】という天安門を見学できました。毛沢東の写真は近くで見ると写真ではなく絵でサイズもたいへん巨大でした。広場を抜けるとずーっとお城が続い



ています。2時間ほど歩き皇帝のイスや仕事をする場所などを見学しました。



この日の昼食は【全聚德】という北京ダックの

有名店に行きました。調べてみると、日本にも展開している北京ダックの有名レストランチェーンだそうで



す。ホテルのバイキングに飽きていたこともあり

中国で食べた食事のなかでダントツに美味しかったです。そのほかにも様々な中華料理をいただきました。



レストランでの食事や、スーパーに行くと、日本とのちょっとした文化の違いに気がつかされました。お店で購入した商品が日本であれば丁寧にレジ袋やカゴに入れてくれます。しかし中国のスーパーでは買った商品を無造作に放り投げていくのです。見ていて『炭酸がぬけちゃうよ…』と思いましたが、日本では当たり前だと思っていることが外国ではそうではない、ということに気がつかされました。外国を知ることを通して、普段気が付かない日本についても考えさせられました。

## 国際交流

この大会を通して、石狩市と彭州市の繋がりの深さを感じました。彭州市選手団の王さんと石狩国際交流協会の藤田さんは旧知の友人のようにおしゃべりをし、お酒を飲み、本当に仲の良い友達のようなでした。王さんは初めて会う私にも、気さくに明るく接していただき、緊張もすぐに和らぎ楽しい日々を過ごすことができました。

子どもたちも、卓球の交流だけでなく、食事やホテル内でも行動を共にしてい

ました。渡邊と彭州市女子代表の毛さんは英語が得意で、

英語でコミュニケーション取り

一緒に音楽を聞いたり、見延は趣味のマジックを披露したりなど、お互いの部屋を行き来するほど子どもたち同士も絆を深めていきました。

昔から今まで続いている友好都市という関係がこういった子どもたちの関わりにも深くつながっているのだと感じました。

## 最後に

日中友好交流年中学生卓球交換大会に参加させていただき本当にありがとうございました。私も、生徒の二人も大変貴重な経験をさせていただきました。参加にあたっては石狩市や、石狩国際交流協会に、たくさんの支援をいただきました。特に、石狩市選手団として引率していただいた、石狩市役所企画経済部秘書広報課高井課長、石狩国際交流協会藤田専務理事、金事務局職員には、中国での生活や試合に向けてたくさんのサポートをしていただき、本当にありがとうございました。また、このメンバーでどこかに行けたらいいなあと思います。。



## 『日中友好都市中学生卓球交歓大会に参加して』

花川北中学校1年 見延大和



8月3日から6日間、石狩市と姉妹都市の中国・彭州市の代表同士がチームを組んで、他の日中姉妹都市である自治体の代表選手と交歓試合を北京で行ってきました。

結果は、チームとしては0勝3敗。個人としては2勝1敗でしたが、結果以上の経験をする事ができました。

出国手続きの緊張から始まり、入国後は、北京のPM2.5を心配しましたが全く感じず、見慣れたコンビニが多数見受けられました。そこでキノコの山を買いましたが、とてもおいしかったです。

本場の中国料理は独特な香りがして僕には合いませんでしたが、北京ダックはとてもおいしかったです。

万里の長城に観光しましたが、階段の高さがバラバラで予想以上にきつかったですが、ある程度登って景色を見るととてもきれいでした。ちょうどその時、とてもよい天気で晴れていて良かったです。ほかにも、おみやげ屋があったので、パンダの人形を買いました。天安門広場ではたくさんの方がいて、少しでも中国語を覚えておけば良かったと感じました。中国の人は派手な服装の人が多く、古くからの歴史によってそうさせているのかもしれない。

信号を取っても日本とは異なり色々な場面で、文化の違いを知ることができました。

最初のきっかけは卓球で交流のある方からの一言でした。

中国の彭州市の方からメールが届き、夏に北京にて友好都市同士でチームを組んで戦う団体戦があるが、もしそうなったら大和君行ってみないか？ということでした。僕も両親も喜んで、その事が実現できたらいいと思っていました。

ところが3月頃に連絡があり、行くことが難しいという返事です。

中国からは熱心に誘ってくれているのだけれど、予算的な関係が？

僕も両親もがっかりしましたが、もちろん事情のある話なのでしょうがないと思っていました。ところが、「中国に行くことができるかもしれないと5月ぐらいに連絡がありました。とても嬉しかったです。

ただ、中学生女子が試合のできるレベルの人が3年生の渡邊さんしかいませんでした。中国に出発する頃にはもう引退しています。行ってくれるかどうか不安になりました。しかし、渡邊さんが行く気があり、とてもありがたいと思いました。きっと、たくさんの方々のおかげで実現したのだと思い、がんばらなければいけないと思いました。

このような経験をいろいろな活動に生かしたいと思います。

## 「全てが初めて」

花川北中学校3年 渡邊詩月



私は、この夏の5日間、中国の北京において日中友好都市中学生卓球交歓大会に参加させていただき、とても貴重な時間を過ごさせてもらいました。その5日間は私にとって、とても濃い時間であったという間でした。

中国に行かないかと言われた時は何が何だかわからず、頭が回りませんでした。しかし、私の大好きな卓球で国境を越え、中国の選手と戦う事が出来るのは、とても貴重な経験だと思い、家族の後押しもあり、中国に行くことになりました。

海外に行くことが初めてだった私はすごく不安でした。

北海道を飛び立つ1日前、自分が明日には中国にいる事を想像出来ませんでした。1日後、期待と不安を抱えたまま飛行機に乗り、北京まで4時間かかり、着陸すると、そこはまるで日本とはかけ離れていました。かすかに香る日本とは違う風、ものすごい湿度、とても驚きました。北京に着いた初日は正直、何も食べられませんでした。このまま、5日間やっつけけるのか不安しかありませんでした。団体戦で組む彭州市との選手とも対面し言葉が異なるため、初日、私は積極的に話しかける事ができませんでした。

2日目、開会式があり、その後、体育館で本番に備え練習がありました。開会式で日中双方の関係者が放った言葉の一つ一つがとても印象深く感動しました。日本にいるときは中国に対し、少し偏見がありました。しかし、日中双方の協会の方々の話を聞くうちに段々と消えていったのです。そのほかにも、中国の方が私に笑顔でたくさん話しかけてくれたり、言葉がうまく伝わらない中、彭州の選手が親切に気遣ってくれてとても嬉しかったです。そのおかげで、自発的に話そうと意識せず、自然に話せる力が出てきました。

3日目、徐々に中国での生活に慣れて、大会初日を迎えました。会場では試合までの待ち時間に中国選手の卓球を見て学んだり、とにかく中国選手のプレイに圧巻されました。回転の分かりづらいサーブ、正確なドライブなど発見ばかりでした。そんな中、私たちの試合が始まりました。いざ卓球台の前に立ってみると声に圧倒され、焦り、自分の思ったゲームをすることができませんでした。すごく悔しかったです。その後の試合でも私は1勝する事ができませんでした。

何のために来たのかわからなくなりました。私には勝つことしか頭がなかったのです。ですから、勝てない事に悔しさを覚えました。そんな時に彭州の毛開蕊さんが声をかけてくれました。『あのチームは強かったよ!』と。私はさりげないフォローをしてくれて元気ももらいました。その時、勝つのが全てでないと心から感じる事ができました。日中友好都市交流中学生卓球交歓大会という文字の中にあるように、日中での友好を深め交流する点では満足でした。ただ、卓球の勝ち負けではなく、日中の友好を深めて欲しいという意味がこの大

会に隠されていたのかもしれませんが。ですから、この貴重な経験を通し、中国の方々はとても親切で、中国はとても心地よい所だと実際に行ってみてわかる事ができましたし、中国の友達ができて良かったと思います。

このような貴重な経験ができたのは、私を支えてくれた団長の藤田さんを始め、多くの方々が出てくれたからです。初めての事ばかりでしたが、今ではとても楽しかったと心から思います。

このような経験をさせていただきありがとうございました。



## 北京の旅

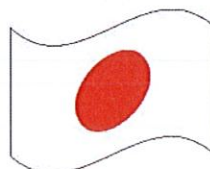
NPO 法人 石狩国際交流協会 金 娜

8月の北京は非常に暑い記憶にしかない中、卓球交歓大会を参加のため、一行6名で北京を訪問しました。懐かしいような新鮮のような…気持ちで無事北京に到着しました。

空港で日本語堪能な大学生ボランティアスタッフに出迎えていただき、更にバスガイドさんも日本語ペラペラでした。翌日から開会式や練習その後は予選リーグ、結果はともかく石狩からの二人の選手にとって初めての貴重な経験であったと思います。同じアジアにある国——中国、自分の目で確かめ、自分の肌で感じることで、きっと新たな発見が出来るはず。中国に対する偏見やイメージもきっと変わってくるはず。

今回の旅は卓球を通じて石狩・彭州の若い世代の交流の場を設けました。お互いに違う言語、違う文化に魅かれ、刺激を与えました。

北京滞在の5日間は長いような短いような、このような友好交流の機会がいっぱいあるように、そして石狩と彭州の友好交流も末永くありますようにお祈りします。





彭州市人民对外友好协会会长 王 永 松

5年に一度開催される第6回日中友好交流都市中学生卓球交歓大会は3日間に渡り熱戦が繰り広げられ無事閉幕しました。

予選4チームで戦った彭州石狩チームの対戦相手は、決勝トーナメントで優勝した大連・北九州チーム、準優勝の深圳福田・長野飯山などの強豪チームが相手でしたが、我々両市の選手たちは一致団結し、勇敢に試合に取り組んでいる姿が深く印象に残りました。

卓球というスポーツは、日中両国が世界卓球界において得意としている分野であります。今年、ドイツの世界卓球大会男子ダブルスの準優勝を獲得した森菌政崇選手は、十年前に日中友好都市小学生卓球交歓大会の“スター”選手でした。

“友情第一、試合第二”をモットーとするのが主催本部の主旨です。今回の卓球交歓大会に参加することにより、我々両市からの4名の選手が近距離の交流ができ、卓球という舞台で技術を交わしました。それは、互いの友情を深めることが試合の結果よりはるかに大きいことです。

両市の青少年が違う形の交流方法（新たなコミュニケーション）を通して互いに切磋琢磨し合い、将来の彭州と石狩両市の交流を促進し硬い絆で結ばれていく、永遠の友人であることを我々は信じています。



彭州市僑外事弁事務局副局長 王 亮

彭州市と石狩市は2000年10月に姉妹都市として提携して以来、政治、青少年、経済、文化、医療等の分野にて幅広い友好交流を行ってきました。

今回、私は石狩市代表の皆さまと共に卓球交歓大会に参加することが出来とても光栄に思っています。予選リーグ敗退という結果ではありますが、両市選手が一生懸命闘う姿がとても印象的でした。

試合中に両市の選手が一緒に食事をし、同じホテルに宿泊し、一緒に練習し、一緒に試合に立ち向かうことを通して、お互いが強い絆で結ばれました。両市青少年の心の中に友好の種をまき、日中友好交流が末永く代々と引き継ぐことのきっかけとなったと感じております。

今回の卓球交歓大会を通じて、両市の友情と信頼が更に深まり、両市の友好交流事業を促進し途切れなく発展することを確信しました。

## 友情、尊重、信頼



彭州市中学校実験学校教頭先生 蔣 鵬

2017年8月3日に彭州市人民政府外事弁の企画のもとに、私は生徒2名を引率し、王主任、王副局長と一緒に首都北京へ旅立ちました。今回の旅は彭州市の姉妹都市である日本石狩市の学生代表と共に“日中国交正常化45周年記念——日中友好交流都市中学生卓球交歓大会”に参加するためです。

当日の20時30分に待ち望んだ日本の友人とお会いし、互いに挨拶を交わしました。違う国ではあるけれども、同じ目標が我々を結び硬い絆を創りあげました。

国の違い、言語の違い、文化も違うが、しかし共に円卓テーブルで食事し、互いに尊重し、関心を持ちました。学校教育、サークル、授業などについても分かち合いました。ここで特別に王永松主任に感謝を申し上げたいと存じます。彼の通訳により、両市の生徒交流の架け橋となりました。両市の中学生により“石狩市・彭州市”卓球代表チームを結成し、他のチームと激しいブロック戦が始まりました。試合中に監督同士が互いに信じ合い、選手同士が互いに励まし、一生懸命頑張り、力一杯闘い、全ての試合をやり遂げました。

良い成績では無かったけれど、我々は石狩市政府、学校、生徒同士の友情、尊重、信頼を手に入れました。



彭州市中学校実験学校二年生 毛 開 蕊

“日中友好交流都市中学生卓球交歓大会”の参加は大変光栄に思います。今回の大会は北京で開催され、私たち一行は首都である北京に来ることができてとても嬉しかった。わずか五日間の滞在期間ですが、故宮、万里の長城、雁栖湖を観光し見学したことが忘れられない思い出になりました。

卓球大会の開幕式にて、中国の元世界チャンピオンの郭選手と今回参加する日本の選手とコンビを組み、ダブルスで中国の選手と模範試合を見ましたが、大変素晴らしい卓球を拝見させていただきました。卓球大会に参加することによって、自分の卓球のレベルアップだけではなく、各地からの選手と知り合いました。当然、私たちは姉

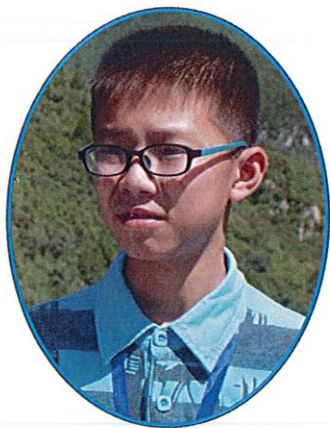
妹都市である石狩市とチームを組み、他のチームよりも親近感があります。石狩市からの選手は詩月ちゃんと大和くんです。言語が違うけど、私たちは英語を使って会話しました。そうすると、スムーズにコミュニケーションを取れることに気づきました。しかも、簡単な日常会話はお互いの言語を相手に教えたり教えてもらったりしました。

そして、私たちが一緒に試合に挑みました。予選は三回負けました、負けた気持ちを抑え最後の試合に挑んだけど結果はやはり同じでした。勝敗の結果は既に分かるけど、でも最後の試合で大和くんが熱い戦いをやってくれました、遂に一勝しました。私たちの為にプライドを取り戻してくれました。“友情第一、試合第二”とはいえ、卓球大会に参加する以上誰もが勝ちたいでしょう？その後の試合にも負けたけど、でも私たちは自分なりに精いっぱい頑張ったので悔いがないです。石狩の友達から一生懸命と団結力を学びました。その素晴らしい精神力は私たちが絶対見習いたいです。

今回の卓球大会をきっかけに今後も末永く友情を続け、日中両国の全ての国民に引き続いて欲しいです。今後もこのような交流機会がたくさんありますようお願いいたします。世界各国の人々が幸福であり、互いに勉強し、互いに成長できればと思います。人々はますます素晴らしく幸福になることを私は確信します。

## 夏の花弁のように咲き誇る

—忘れられない北京の旅—



彭州市中学校実験学校一年生 許 智 皓

この夏休みに私たちは彭州市人民政府外事弁の企画のもとに、道德教育部の蔣主任と一緒に我が国の首都である北京に行きました。今回の旅は旅行ではなく、“日中国交正常化 45 周年記念日中友好交流都市中学生卓球交歓大会”に参加するためです。

普段、校内では自分の卓球はイケてると思っていました。同級生たちもそう思っていました。いざ北京で事前練習にて、同じ年の子が皆さん真剣な目つきで、動きがすばしこくてスマートでレベルの高さにビックリしました。動揺した不安な気持ちが隠せませんでした。私は井の中の蛙にすぎなかったことに気づき、でも自分自身を励まし絶対最後まで頑張ろうと思いました。

姉妹都市日本側の代表団、石狩市からの 2 名の選手と挨拶を交わしました。日本人はとても友好で親切です。練習の際、時に笑顔を交わし言葉が通じないけど私たちは以心伝心できました。

8月5日試合当日、私は不安と恐怖の中で自分を励ましました。試合が始まると共に、やはり一番大事な精神力を忘れてしまっています。1試合目、途端緊張感のはしってきました。サーブでさえミスの連続でした。予選第一試合で相手チームに負けました。その後の試合にも同じ結果でした。最終的ブロック戦が完敗にて試合を終えました。自分の過ちを責め、悔しい気持ちでいっぱいでした。でも、石狩選手が試合中の一生懸命さと積極的に試合に挑む素晴らしい精神力が私にとって最大な収穫でした。“負けましたけど、私たちは闘う気持ちがまだ残っています。だから弱気にならないで、私たちは夏の花々みたいに咲き誇るべきです！”

8月6日、7日の二日間の中で、石狩の選手と一緒に天安門、万里の長城、故宮等世界遺産を観光しました。日本の友達と一緒に祖国の現代の息吹が満ち溢れる街を分かち合い、素晴らしい五日間を共に過ごしました。時間が過ぎるのが実に早いものです。8月8日に別れの日が訪れました。私は共に過ごした五日間の一つ一つの思い出が恋しく思い、また再会することを心待ちにしています。

さよなら北京！さよなら日本の友達！北京の旅は沢山のことを収穫しました。純潔な友情、真剣な態度、頑強で粘り強い精神力……。今後、この純金のような思い出を胸に、強い精神力、真剣な態度を勉強に取り組みます。……北京の旅は一生忘れられない、真夏の花びらみたいに！



日中友好交流都市中学生卓球交歓大会  
予選リーグ戦試合結果表

4ブロック

		1	2	3	4	勝敗	順位
四川省彭州市 北海道石狩市	チーム		×	×	×	0-3	4位
			0-5	1-4	1-4		
深圳市福田区 長野県飯山市	チーム	○		×	○	2-1	2位
		5-0		1-4	3-2		
遼寧省大連市 福岡県北九州市	チーム	○	○		○	3-0	1位
		4-1	4-1		5-0		
福建省南安市 長崎県平戸市	チーム	○	×	×		1-2	3位
		4-1	2-3	0-5			

場次号:10025 福建省南安-長崎県平戸 -- 四川省彭州-北海道石狩 4:1

A 方雅莹	--	X 渡邊 詩月	3:0 (10,9,13)
B 田口 章広	--	Y 許智皓	3:0 (9,3,9)
C 田口 章広	--	Z 許智皓	3:0 (9,10,9)
方雅莹	--	渡邊 詩月	
A 楠富 麗奈	--	Y 毛开蕊	3:0 (4,3,9)
B 黄靖凯	--	X 見延 大和	0:3 (-4,-7,-11)

場次号:10026 遼寧省大連-福岡県北九州 -- 深圳市福田区-長野県飯山 4:1

A 秦子怡	--	X 佐野 来珠	3:0 (5,6,3)
B 濱田 佳基	--	Y 刘星宇	3:2 (-7,-9,8,2,6)
C 秦子怡	--	Z 畔上 巧	3:1 (-9,6,4,7)
濱田 佳基	--	屈沛琳	
A 佐原 さくら	--	Y 屈沛琳	1:3 (11,-7,-8,-3)
B 李宏睿	--	X 畔上 巧	3:0 (1,3,7)

場次号:10057 四川省彭州-北海道石狩 -- 遼寧省大連-福岡県北九州 1:4

A 毛开蕊	--	X 佐原 さくら	0:3 (-3,-5,-3)
B 見延 大和	--	Y 李宏睿	3:1 (-4,7,8,3)
C 見延 大和	--	Z 秦子怡	0:3 (-4,-8,-7)
毛开蕊	--	濱田 佳基	
A 渡邊 詩月	--	Y 秦子怡	0:3 (-9,-8,-7)
B 許智皓	--	X 濱田 佳基	0:3 (-4,-3,-1)

場次号:10058 福建省南安-長崎県平戸 -- 深圳市福田区-長野県飯山 2:3

A 方雅莹	--	X 佐野 来珠	3:0 (8,2,9)
B 田口 章広	--	Y 刘星宇	0:3 (-7,-8,-2)
C 楠富 麗奈	--	Z 畔上 巧	2:3 (-2,-2,2,9,-8)
黄靖凯	--	屈沛琳	
A 楠富 麗奈	--	Y 屈沛琳	0:3 (-1,-4,-3)
B 黄靖凯	--	X 畔上 巧	3:0 (7,3,6)

場次号:10089 四川省彭州-北海道石狩 -- 深圳市福田区-長野県飯山 0:5

A 毛开蕊	--	X 佐野 来珠	2:3 (-6,8,-8,8,-3)
B 見延 大和	--	Y 刘星宇	0:3 (-9,-11,-4)
C 毛开蕊	--	Z 刘星宇	1:3 (-9,-7,9,-12)
見延 大和	--	佐野 来珠	
A 渡邊 詩月	--	Y 屈沛琳	0:3 (-6,-2,-6)
B 許智皓	--	X 畔上 巧	1:3 (-3,10,-5,-9)

場次号:10090 福建省南安-長崎県平戸 -- 遼寧省大連-福岡県北九州 0:5

A 方雅莹	--	X 佐原 さくら	0:3 (-4,-5,-2)
B 田口 章広	--	Y 李宏睿	0:3 (-3,-7,-5)
C 田口 章広	--	Z 濱田 佳基	0:3 (-8,-7,-7)
方雅莹	--	秦子怡	
A 楠富 麗奈	--	Y 秦子怡	0:3 (-6,-1,-9)
B 黄靖凯	--	X 濱田 佳基	0:3 (-5,-5,-6)

## 【日中友好交流都市中学生卓球交歓大会】

## エントリーチーム一覧

NO	日本側		中国側		NO	日本側		中国側	
1	北海道	石狩市	四川省	彭州市	35	三重県	三重県	河南省	
2	宮城県	仙台市	吉林省	長春市	36	三重県	津市	江蘇省	鎮江市
3	秋田県	秋田県	甘肅省		37	滋賀県	彦根市	湖南省	湘潭市
4	秋田県	秋田市	甘肅省	蘭州市	38	大阪府	池田市	江蘇省	蘇州市
5	山形県	山形市	吉林省	吉林市	39	兵庫県	兵庫県	海南省	
6	山形県	酒田市	河北省	唐山市	40	奈良県	奈良市	陝西省	西安市
7	山形県	南陽市	河南省	南陽市	41	鳥取県	鳥取県	河北省	
8	茨城県	水戸市	重慶市		42	鳥取県	米子市	河北省	保定市
9	群馬県	館林市	江蘇省	昆山市	43	鳥取県	境港市	吉林省	琿春市
10	埼玉県	戸田市	河南省	開封市	44	島根県	松江市	吉林省	吉林市
11	千葉県	市川市	四川省	樂山市	45	島根県	松江市	寧夏回族自治区	銀川市
12	千葉県	船橋市	陝西省	西安市	46	山口県	下関市	山東省	青島市
13	千葉県	成田市	陝西省	咸陽市	47	山口県	宇部市	山東省	威海市
14	東京都	東京都	北京市		48	徳島県	徳島県	湖南省	
15	東京都	目黒区	北京市	東城区	49	徳島県	徳島市	遼寧省	丹東市
16	東京都	大田区	北京市	朝陽区	50	徳島県	鳴門市	湖南省	張家界市
17	東京都	北区	北京市	西城区	51	香川県	高松市	江西省	南昌市
18	東京都	板橋区	北京市	石景山区	52	高知県	高知市	安徽省	蕪湖市
19	東京都	葛飾区	北京市	豊台区	53	福岡県	福岡県	江蘇省	
20	東京都	八王子市	山東省	泰安市	54	福岡県	北九州市	遼寧省	大連市
21	富山県	砺波市	遼寧省	磐錦市	55	福岡県	福岡市	広東省	広州市
22	福井県	福井市	浙江省	杭州市	56	福岡県	久留米市	安徽省	合肥市
23	福井県	小浜市	陝西省	西安市	57	佐賀県	伊万里市	遼寧省	大連市
24	長野県	長野県	河北省		58	長崎県	長崎県	福建省	
25	長野県	長野市	河北省	石家庄市	59	長崎県	長崎県	上海市	
26	長野県	松本市	河北省	廊坊市	60	長崎県	長崎県	湖北省	
27	長野県	上田市	浙江省	寧波市	61	長崎県	長崎市	福建省	福州市
28	長野県	須坂市	吉林省	四平市	62	長崎県	諫早市	福建省	漳州市
29	長野県	飯山市	広東省	深圳市福田区	63	長崎県	大村市	上海市	閔行区
30	岐阜県	岐阜県	江西省		64	長崎県	平戸市	福建省	南安市
31	岐阜県	岐阜市	浙江省	杭州市	65	熊本県	熊本県	広西壮族自治区	
32	静岡県	熱海市	広東省	珠海市	66	大分県	大分市	湖北省	武漢市
33	愛知県	半田市	江蘇省	徐州市	67	鹿児島県	鹿児島市	湖南省	長沙市
34	愛知県	稲沢市	内蒙古自治区/赤峰市	赤峰市					



〈主催〉公益社団法人日本中国友好協会、公益財団法人日本卓球協会、中国人民対外友好協会、中国日本友好協会、中国卓球協会

〈後援〉日本総務省、日本外務省、日本スポーツ庁、一般財団法人自治体国際化協会、毎日新聞社、中国外務省、中国国家体育总局

〈協賛〉伊藤忠商事株式会社、全日本空輸株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社ソニーホールディングス、日清食品ホールディングス株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、中国友好和平発展基金会、上海紅双喜股份有限公司

〈支援団体〉北京市人民対外友好協会、北京市卓球運動協会

決勝戦を観戦する日中の選手と参加者たち



心の距離、縮まった

6日午後、4組それぞれの決勝戦が行われ、白熱した試合が展開された。敗退したチームの選手と関係者の全員がスタンドから観戦した。

大会はその後、表彰式および閉会式をもって終了。表彰式で前原正浩・日本卓球協会副会長は「友情も深められた意義ある大会だった。今回の

# 心をつないだ

## 日中混成67チームの中学生

試合に勝ってハイタッチで喜びを分かち合う。会場は石川県山崎町の選手コート

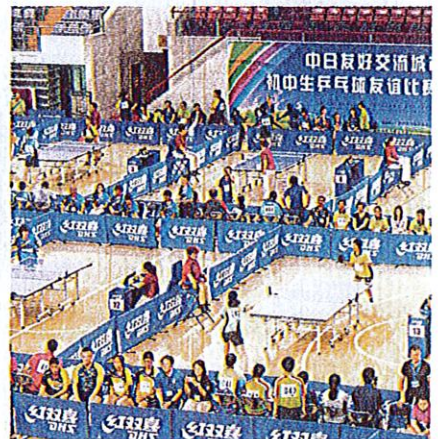


体験を日中交流に生かし、成長してほしい」と期待を寄せた。宋敬武・中国人民対外友好協会副会長は「レベルの高い試合を見てくれただけでなく、心の距離を縮め、中日交流を促進してくれたことがうれしい」と成果を称えた。

鳥取県チームの中前健監督（中学教諭）は「お互いに応援したり、アドバイスしたり、選手同士の交流ができた。監督同士も指導方法について意見交換した。勝利という目標

に向って協力し、試合を重ねることにまとまってくれたのを感じた。卓球を通じて、人と人とのつながりができたことがよかった」と振り返った。

第1組で優勝した三重県・河内省チームの通訳として帯同した小宮一郎・三重県日中友好協会事務局長は「一言で言うと『日中は距離が近い』



体育館一面に卓球台が並んだ予選リーグの様子

と感じた。選手同士も、コート離れも、一体感がすぐ出てきた。試合はダブルスではジェスチャーで意思疎通ができるほどで、言葉はいらなかった。そういう意味では、日本と中国には言葉がなくても通じ合えるものがたくさんあると、改めて感じた」と感想を語った。

なは「大丈夫か」と心配してくれた。試合はダブルスのペアの中国の女の子とアイコンタクトやジェスチャーで互いに協力し、何回か勝った。また、僕が負けてもみんなが慰めてくれてうれしかった。最終日は、武漢の人たちと家族のように仲良くなることができた。

深まった友好都市の絆

事前訪問で「体感」より強固に

長野県は、県と長野・松本・上田・須坂・飯山の5市から6チームが出場。事前に友好都市である河北省の各都市を訪れ、合同練習などで交流を深めたのちに大会に臨んだ。

長野市チームに帯同した金子繁三・長野市日中友好協会理事は「石川県市では歓迎され、すばらしい練習もできた。大会は惜しくも決勝で敗れたが『友好第一』の有意義な大会だった」と語った。



ホテルのロビーでトランプを楽しむ大分市・武漢市チームの4人。左から2人目が松島くん

術上の両側面でも成果が出ているという。大分市チームは準々決勝で敗れたが、樋口秀吉隊長（大分県日中友好協会事務局長）は「成績よりも子供たちが仲良くなったことが一番。不思議

なもので、言葉が通じなくても子どもはすぐに打ち解け合っていると話した。

武漢の人たちは家族

大分市チームの松島史太郎選手は、試合中の練習は、ジェスチャーなどでコミュニケーションを取り、1日で仲良くなることでできた。中国の選手は、とても上手で、技術を見習って手本にしたと思った。

北京では、熱を出して寝込んでしまった。その代わりに、みんな

観光をしたり、とても良い経験をさせてもらった。大分市の方や支援してくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいだった。中国の良さ、中国人の良さを学校や地域の皆さんに伝えていきたいと思う。



三重県-河南省チーム



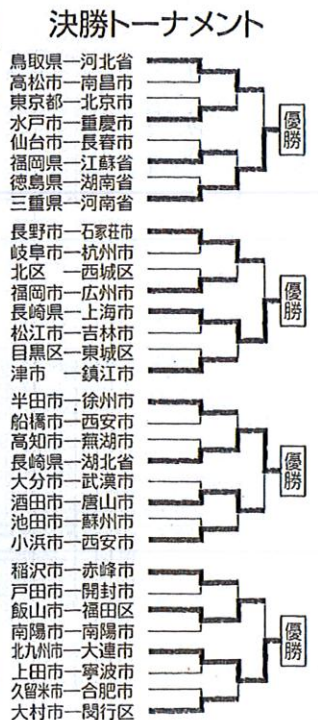
長崎県-上海市チーム



長崎県-湖北省チーム



北九州市-大連市チーム



## 万里の長城、雁栖湖を見学 祝賀レセプションで別れ惜しむ



祝賀レセプションを盛り上げたハンダのダンス

大会後の7日は、中国伝統芸能の「変面」や武術など多彩なパフォーマンスが盛り上げられた。

また、日中双方の選手代表が大会を振り返り、ステージ上で感想を述べた。各チームは食事をしながら最後の交流のひと時を楽しみ、別れを惜しんだ。

第4組で優勝した北九州市-大連市（遼寧省）チームの佐原さくらさんと桑子怡さんは、とりわけ仲の良さが印象的だった。

佐原さんによると、「初めはぜんぜん仲良くなれなかったが、彼女がスマホの翻訳アプリや英語を使ってくみゅにコミュニケーションを取ってくれた」という。この9月から高校に進学するという年上の桑さんのリードもあり、仲良しの佐原さん（もと桑さん）



スマートフォンで交流する仲良しの佐原さん（もと桑さん）

# 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会



ベチで応援する大村市関行区チームの選手とスタッフ

会場となった国家オリンピックセンター体育館は、2008年の北京五輪の舞台の一つで、スタジアムや水泳場などを含む総合スポーツ施設の中にある。敷地内には宿舍も完備され、国家代表レベルのスポーツ選手の育成の場にもなっており、すばらしい設備と環境が提供された。

4日午前の開会式後にはデモンストレーションが行われ、卓球の元中国女子代表で世界選手権金メダルの郭焱さんが、長野市・石家荘市（河北）チームの横川みのりさんとダブルスを組んで中国の選手と対戦した。ラリーの中で郭焱さんが強烈なスマッシュ

8月4日から  
6日まで開催された日中  
友好交流都市中学生卓球交歓  
大会の最大の魅力は、友好都市同  
士がペアとなりチームをつくること。  
言葉の壁を越え、少しずつ仲良くなっ  
ていく選手たちからは日中関係の持  
来の希望が感じられた。心をつ  
なぐ友好のスマッシュ。深めた  
友情。熱い3日間を取材  
した。(北澤竜英)

## 友好のスマッシュ

### 言葉の壁を越えて北京で交流



北九州市一大連市チーム(手前)と飯山市-福田区チームの試合



**学生ボランティアが活躍**

中日友好協会のスタッフと共に大会運営を影で支えたのが、黄緑の揃いのポロシャツを着た学生ボランティアスタッフ(写真)だ。彼らのほとんどは、協会派遣の大学生訪中団の間に交流相手として頻繁にお世話になっている北京第二外国语学院と国際関係学院で日本語を学ぶ学生。スマートフォンでのチャット(微信=中国版LINE)を駆使しながら連絡事項を共有し、バス移動や会場での手伝いなど日本選手団を親切にサポート。スムーズな大会運営に大きく貢献した。感謝!



デモンストレーションでダブルスを組んで試合した郭焱さん(右)と横川みのりさん

を打つと、会場からは歓声とよめきが起った。郭焱さんは「数多くの世界大会に出場した

が、国をまたいで外国人とダブルスを組んだのはこれが初めて」とうれしそうに語り、横川さんは「すごく緊張したが、いろいろな技術を覚えてもらい勉強になった。大会に生かしたい」と話した。

同日は事前練習も行われ



(上)開会式の様子。(下)開会式に出席した大会関係者ら。右から河村建夫・日本卓球協会を筆頭会長、藤重貞慶・同会長、丹羽幸一郎・入会者、日中友好協会会長、唐家璇・中日友好協会会長、李小林・中国民対外友好協会会長、宋敬武・同副会長

予選では、体育館に1列8台の卓球台が3列並べられ、計24台が一面を敷きつめた。全67チームは4組に分かれてグループ予選を行い、上位2チームが決勝トーナメントへ進んだ。

試合開始と同時にベンチやスタンドからは拍手と声援が送られ続けた。会場は一気に

選手たちは会場の雰囲気や使用する卓球台の感触を確かめた。息の合ったプレーが必要とされる混合ダブルスに向けてサインを確認するチームや、コーチ同士が声をかけ合っ、即席の練習試合を行うチームが見られた。

**熱気でつまった会場**

翌5日から予選リーグが始まった。一度の対戦で行われる試合は計5試合。男女シングルスを2試合ずつ、男女混合のダブルス1試合で競った。



通訳を介してアドバイスを聞く秋田県-甘肅省チームの選手

- 出場67チーム一覧**
- 北海道 石狩市-四川省彭州市 宮城県 仙台市-吉林省長春市 秋田県 秋田県-甘肅省蘭州市 山形県 山形市-吉林省吉林市 酒田市-河北省唐山市 南陽市-河南省南陽市 茨城県 水戸市-重慶市 群島県 館林市-江蘇省昆山市 埼玉県 戸田市-河南省開封市 千葉県 市川市-四川省樂山市 船橋市-陝西省西安市 成田市-陝西省咸陽市 東京都 東京都-北京市 目黒区-北京市東城区 大田区-北京市朝陽区 北区-北京市西城区 板橋区-北京市石景山区 葛飾区-北京市丰台区 八王子市-山東省泰安市 富山県 砺波市-遼寧省錦州市 福井県 福井市-浙江省杭州市 小浜市-陝西省西安市 長野県 長野市-河北省長沙市 長野県 長野市-河北省廊坊市 上田市-浙江省寧波市 須崎市-吉林省四平市 飯山市-広東省深圳市福田区 岐阜県 岐阜市-江西省 贛州市-浙江省杭州市 静岡県 熱海市-広東省珠海市 愛知県 半田市-江蘇省徐州市 稲沢市-内モンゴル自治区赤峰市 三重県 三重県-河南省濮陽市 江蘇省鎮江市 遼寧省 遼寧市-湖南省湘潭市 大阪府 池田市-江蘇省蘇州市 兵庫県 兵庫県-海南省 奈良県 奈良市-陝西省西安市 鳥取県 鳥取市-河北省米子市-河北省保定市 境港市-吉林省琿春市 鳥根県 松江市-吉林省吉林市 松江市-寧夏回族自治区銀川市 山口県 下関市-山東省青島市 宇部市-山東省威海市 徳島県 徳島市-湖南省 衡陽市-遼寧省丹東市 鳴門市-湖南省張家界市 香川県 高松市-江西省南昌市 高知県 高知市-安徽省蕪湖市 福岡県 福岡市-江蘇省北九州市-遼寧省大連市 福岡市-広東省広州市 久留米市-安徽省合肥市 佐賀県 伊万里市-遼寧省大連市 長崎県 長崎県-福建省 長崎県-上海市 長崎県-湖北省 長崎市-福建省福州市 諒早市-福建省漳州市 大村市-上海市関行区 平戸市-福建省南安市 熊本県 熊本県-広西チワン族自治区 大分県 大分市-湖北省武漢市 鹿児島県 鹿児島市-湖南省長沙市

**中学生ならではの体格差も**

廊下で段々くんと身長が伸び、三重県の前出くんと43センチ

中学生と言えは、体の成長度合いにはばらつきがある年代。特に男子選手には大きな体格差が見られた。日本選手の中で一際大きかったのが、松江市(鳥取)県立チームの堅固輝之くん(中学3年)。身長174センチの体格を生かした力強いスマッシュが印象的だったが、卓球を始めたのは中学校に入ってからだとい

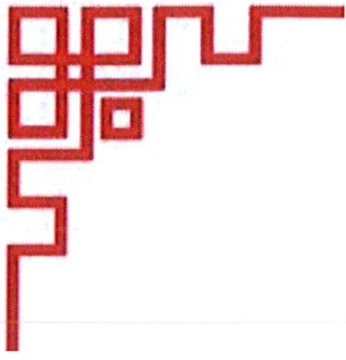
堅固輝之くん

「日本人なら得点になるボールも、(中国の人は)打ち返してきた。強い中国人選手との初対戦を楽しんでいるようだった。」

一方、どう見ても中学生に見えなかったのが、廊下市(河北省)チームの段宏揚くん。身長はなんと187センチ。それでもまだ中学2年生だという。段くんは、中国側に

は大柄な選手が多かった。小柄でも注目を集めたのが三重県チームの前出陸杜くん(中学1年)。身長は143センチだが、小学時に日本代表候補に参加したこともあるという逸材。卓球台から体半分が見えるほどだが、すばやいステップと正確な打球で決勝戦では多く歓声が上がった。「中国選手との打球は日本選手と質が違う。勉強になった。夢はオリンピックで金メダルを獲得することだ」とい

前出陸杜くん



中國



発行・編集：2017年9月  
特定非営利活動法人 石狩国際交流協会

